

授業科目 装具学 II (下肢装具)

【担当教員名】 東江 由起夫、笹本 嘉朝、須田 裕紀、 高橋 素彦		対象学年	3	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 下肢の疾患および障害に対応した下肢装具のデザイン決定、製作および適合を行えるようになるために、下肢の疾患および障害、当該部位の評価方法、下肢のバイオメカニクス、下肢装具の種類等の基礎知識を習得する。					
【学習目標】 1. 下肢装具の定義、分類、用語、使用目的について説明できる。 2. 下肢の解剖・機能解剖、およびバイオメカニクスについて説明できる。 3. 対象となる疾患と障害について説明できる。 4. 下肢装具のデザインを決定するための評価方法について説明できる。 5. 下肢装具の臨床工程で求められる義肢装具士の役割、責任、および求められる態度について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス・下肢装具概論			1	
2	下肢の解剖・機能解剖・バイオメカニクス			2	
3	下肢装具学各論1：足部疾患と装具			3, 4	
4	下肢装具学各論2：足関節の機能障害と装具			3, 4	
5	下肢装具学各論3I：下肢の骨折と装具			3, 4	
6	下肢装具学各論4：足関節および膝関節疾患と装具			3, 4	
7	下肢装具対象者の評価方法			4	
8	下肢装具の臨床工程と義肢装具士の役割、責任、および求められる態度			5	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		装具学 第4版	日本義肢装具学会 監修	医歯薬出版	2013・6,200円＋税・ISBN：9784263214183
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 最終筆記試験70%、小テスト20%、レポート10%とする。 ※原則、授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点、遅刻2回につき-5点を、最終評価から減点する。			【履修上の留意点】 本科目は、「装具実習3(下肢装具実習)」とあわせて行われるため、両科目の相互理解が重要である。		